

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成14(2002)年度第6回相互協力委員会議事録

日時：2003年2月28日(木)午後1時30分～午後5時
場所：鈴鹿医療科学大学 会議室

出席者：長坂功(愛知大学) 足立祐輔(愛知学院大学) 加藤直美(愛知工業大学)
中上恵子(愛知みずほ大学) 酒井麻里(金城学院大学) 松永ひとみ(鈴鹿医療科学大学)
疋田幸世(中部学院大学) 蓑島智子(中部大学) 加藤富美(南山大学)
石川宗臣(日本福祉大学) 計10名
記録：中上恵子(愛知みずほ大学)

【報告事項】

1. 常任幹事会の報告

長坂委員長より12月に開催された常任幹事会の報告を受けた。

- ・相互協力委員会からは常任幹事会に対して以下の報告を行った。

相互協力実務担当者研修会実施報告

決算報告は、報告書送付後の3月の常任幹事会で行うこと、参加状況は良好であったことを報告した。

データベース共同トライアルについて

情報交換会を受けて実施したことを報告した。

参加数については幹事会での評価は様々であった。

(委員より、東海地区協議会事業にする方向にはならなかったのかとの質問があり、委員長より、取組は必要との認識はあるとの回答がされた。)

相互協力委員会開催状況を報告した。

ILL料金相殺制度について

東海地区としては時期尚早との判断であり、東地区ならびにNIIの動向を見守ることとした。

- ・常任幹事会からの関連報告事項は以下の通り。

ホームページ委員会の報告

12月から私立大学図書館協会ホームページが正式に移行している。

東海地区協議会は現在J-Netのレンタルサーバで運用しているが、順次私立大学図書館協会サーバーへ移行しつつある。完全移行を3月中旬を目処に行っているが、東海地区はデータ量が多いため、制限される可能性もある。

協議会加盟会費について

現行の基本会費+館員数による会費規定を見直している。

次期研究会分科会テーマについて

次期研究会幹事校の大同工業大学より、レファレンスコンソーシアム事例集共同構築をテーマとしたい旨常任幹事会で申し出があった。本委員会の事業として実施中であるが、中心で取りまとめている愛知工業大学・加藤直美さんの意見を尊重した上で、許諾した。

【協議事項】

1. 本年度相互協力委員会会計報告について

2002年度相互協力実務担当者研修会、相互協力委員会の会計報告があり、了承された。

2. 2002年度相互協力実務担当者研修会報告書について

相互協力実務担当者研修会の報告書を100部作成し、地区加盟館に送付したこと、講演者及び事例報告者、理事校、次期相互協力委員長校に送付することが報告された。その他、

国立国会図書館への納本が提案され、了承された。

3. 「館灯」への講演記録掲載について

今回の実務担当者研修会講演記録は膨大なものになってしまったが、できる限りそのまま掲載されるよう研究会幹事校に依頼することを確認し、了承された。

4. OPAC 横断検索について

実施したアンケートの取りまとめについて、実務担当者研修会で中間報告まではできたので、この部分は公開してゆく。項目 2, 3 についてはまとめられる状況ではない点を明らかにする報告とすることになり、文案は後日ワーキンググループで作成し、メーリングリストで周知することになった。尚、「館灯」の原稿締め切りは3月14日。

5. 次期体制について

現委員校のうち愛知工業大学、愛知みずほ大学、中部学院大学は今限りで委員校を交替することになった。

新規委員校として現在のところ名城大学から承諾を得ている。

次期委員長校は金城学院大学の予定。

6. 申し送り事項

別紙申し送り事項(案)をもとに検討した。

- ・ OPAC 横断検索 / 相互貸借物流に関しては本年度で終了しているので削除する。
- ・ レファレンス事例集・掲示板の維持及び管理は研究会分科会へ移行する予定であるが、推移を見守るという意味で項目を残す。
- ・ 東海地区私立大学図書館員メーリングリストは現状では実現困難な面が多いため、一旦削除し、改めて可能性を模索してもらうことにする。
- ・ この他、相互協力委員会のスリム化・研究会との関係などを含めて、東海地区協議会の各下部組織の相互連携、集約、今後のあり方等について再検討し、メーリングリストで意見集約することになった。

< 2002年度第3回情報化委員会・相互協力委員会合同委員会 > (16:00より)

1. 東海地区協議会ホームページ(以下 HP と略)について

笹山情報化委員長より私立大学図書館協会のレンタルサーバーについて報告された。

12月より移行しており、その中に東西地区部会から各地区協議会にリンクされている。東海地区の HP は協会 HP ガイドラインに合わせて作り直しているところであり、新しい HP への案内も作成中である。この移行に合わせて3月末で東海地区の現レンタルサーバーは契約を終了するが、この点については理事校から加盟館へ案内が出される予定。両委員会メーリングリストは3月末で終了するため、それ以降は各委員宛の個別アドレス指定になる。

2. リンクデータベース維持について

笹山情報化委員長より標記について説明があり、検討を行った。

目的としては、研究会事業で作成されたデータベースを両委員会で維持していくために、次期委員会で作業しやすいものとするためのマニュアル作りを目指すものである。両委員会でリンク切れの確認の分担をするが、データ修正・削除は複数担当者で確認するとよい。維持継続するかどうかの判断は各委員会内で判断し、迷うものがあれば合同委員会で擦り合わせる。

上記提案を受けて、使いやすいものとして維持するためのチェックをどのようにするかについての意見を出し合った。実施時期は年1回とし、リンク切れ、内容を確認する。修正が必要な場合は修正するが、積極的に登録するものではない。見つけられなかったものはデータ削除するが、この場合は複数担当者で確認する。などの意見があり、これをたたき台として次期委員会に申し送り事項として引き継ぐこととなった。

3. 両委員会の報告が各委員長からなされた。

相互協力委員会からは、長坂委員長より、実務担当者研修会報告書を刊行したこと、館灯原稿について確認したこと、申し送り事項・アンケート公表方法について論議したことが報告された。また、研究会事業からの引継ぎが多くなっているの
で、連携の方向を図る必要性が提案された。

情報化委員会からは、笹山委員長より、HPの移行について報告・確認がなされたこと、次期委員校が承認されるまでの2ヶ月間が空白期間となるが、その間もHPは公開されるため、議事録は早い時期にアップしてほしいこと、館灯に掲載する原稿を確認したこと、HPには前記館灯原稿、見学会の記録、アンケート集計結果をアップすることが報告された。そのほか、会計報告を行ったこと、次期委員会への申し送り、新委員の決定分の報告がなされた。

以上